

## 京都府内におけるまちづくり活動の経験から

京都産業大学 滋野浩毅

## 1. まちの人の“思い”をつむぐ—京都府北部での経験から

- ・ガイドブックの作成
- ・アートイベント実施支援
- ・福知山市まちづくり検討会ファシリテーター
- ・京都府景観資産「美しき命の源流うぶやの里・大原」と大学地域連携の推進
- ・京都府北部地域・大学連携機構
- ・与謝野町「岩屋わいわいミーティング」ファシリテーター

## 2. 京都北部での取組 成果と課題

- ・「なにかをやりたい」という人が可視化
- ・「補助金ありき」→「補助金はきっかけ」
- ・既存の組織、枠組みを越え、ネットワークでの動き
- ・動くのは「同じ人」ばかり
- ・担い手はあまり育っていない？

## 3. 多様な地域性と向き合う—京都府南部での経験から

- ・宇治市との地域大学連携
- ・宇治市「宇治魅力発信プラットフォーム会議」ファシリテーター
- ・城陽の「子ども記者クラブ」
- ・伏見の事業者との「観光まちづくり」に向けた話し合い
- ・南山城村「南山城村地方創生総合戦略策定有識者会議」
- ・輝く女性応援京都会議 山城地域会議

## 4. 京都府南部での取組 成果と課題

- ・多様な地域性（ベッドタウンと過疎地が同居）に合わせたまちづくりが試みられている
- ・「話し合い」の活用
- ・やはり担い手は限定的か？

## 5. 考察

- ・求められる人材はリーダー？フォロワー？それともコーディネーターないしはファシリテーター？
- ・→異なる価値観、発想、行動様式を持つ地域間・主体間の連携に求められるものとは？
- ・→それは「育てられる」のか？それとも「育つ」のか？
- ・高齢化・人口減少に向かう中、「今、地域でがんばっている人」の想いや成果をどのようにつないでいくか？
- ・→本当に「つなぎたいこと」は何か？

## 滋野浩毅 プロフィール

滋野 浩毅 (しげの ひろき)

プロフィール1 (仕事)

京都産業大学現代社会学部 教授

2005年4月～2008年3月: 京都橘大学大学院文化政策学研究所博士後期課程。山科地域のまちづくり、地域大学連携の取り組みに携わる。

2008年4月～2009年3月 京都府 NPO 協働推進課嘱託職員 (現: 協働コーディネーター)。

2009年4月～2010年3月 福知山まちづくり会社。福知山市中心市街地の活性化に取り組む。

2009年4月～2015年3月 成美大学。特に2012年度からは地域大学連携の取り組みに注力。

2015年4月～2017年3月 京都文教大学地域協働研究教育センター専任研究員。大学COC担当教員として、京都府南部の地域と大学の連携、学生の地域での学びに取り組む

プロフィール2 (市民活動等)

1998年～京都ものづくり塾代表

2003年～楽洛まちぶら会メンバー

2010～2015年 NPO 法人四条京町家理事

2010～? 京都府中丹パートナーシップセンター運営協議会顧問

2011年～ NPO 法人北近畿みらい顧問

2012年～ NPO 法人きょうと NPO センター理事

2012～2015年 京都府北部地域・大学連携機構コーディネーター

2013年～ 里山の魅力を活かして地域間交流・定住促進を図るプラットフォーム代表

2015年5月～ NPO 法人音の風理事 等

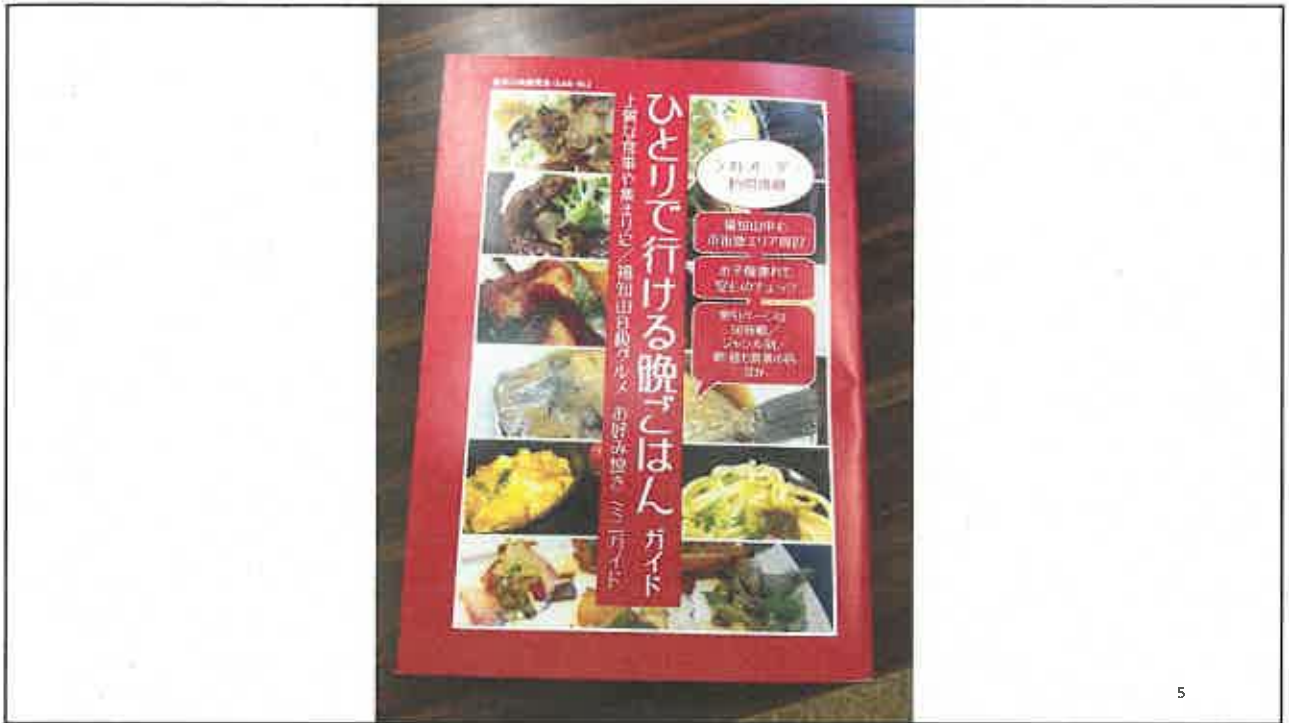
## こんなまちの人の話から・・・

- 明治時代に、まちの人が、ええ店やええところを紹介した、今で言うところの“ガイドブック”があったんや。
- 当時の方がそんなことをしとったことがすごいやろ？
- 僕らも今のまちのもんがそんなことできんかな、と思って考えたんや。

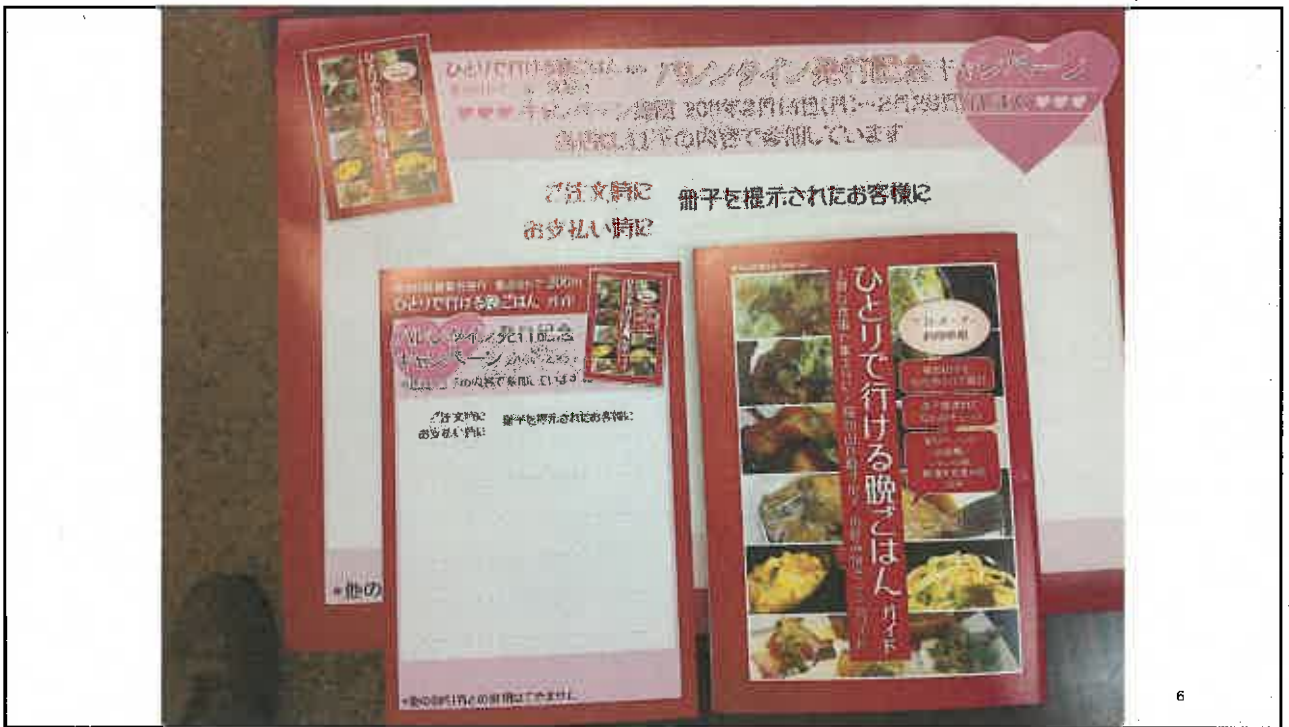
1







5



6





9



10







13



14



15



16